

2023 年度医療の質可視化プロジェクトで使用する指標一覧

#	指標名	分子	分母	データソース*1
医療安全				
1	入院患者の転倒・転落発生率	入院患者に発生した転倒・転落件数	入院患者延べ数	SV*2
2	入院患者での転倒転落によるインシデント影響度分類レベル 3b 以上の発生率	入院患者に発生したインシデント影響度分類レベル 3b 以上の転倒・転落件数	入院患者延べ数	SV
3	リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率	分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数	DPC
感染管理				
4	血液培養 2 セット実施率	血液培養オーダが 1 日に 2 件以上ある日数	血液培養オーダ日数	DPC
5	広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率	分母のうち、入院日以降抗菌薬処方日までの間に細菌培養同定検査が実施された患者数	広域スペクトルの抗菌薬が処方された退院患者数	DPC
6	手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率	分母のうち、手術開始前 1 時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数	手術室で行った手術件数	SV
ケア				
7	d2 (真皮までの損傷) 以上の褥瘡発生率	d2 (真皮までの損傷) 以上の院内新規褥瘡発生患者数	入院患者延べ数	SV
8	65 歳以上の患者の入院早期の栄養ケアアセスメント実施割合	分母のうち、入院 3 日目までに栄養ケアアセスメントが行われたことがカルテに記載された患者数	65 歳以上の退院患者数	SV
9	身体拘束率	分母のうち、物理的身体拘束を実施した患者延べ数	入院患者延べ数	SV

*1: データソースとは、当該指標の計測に必要な診療情報です (DPC: DPC データ SV: サーバイランスデータ)。

*2: SV(サーバイランスデータ)は、診療記録(電子カルテや看護記録など)や独自調査などのデータを想定しています。サーバイランスデータを用いる指標の場合は、各施設の実情に応じて測定可能なデータをご利用ください。

★ 2022 年度指標からの変更点

指標名	変更点
身体拘束率	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指標名の変更(身体抑制率 → 身体拘束率)、 ■ 身体拘束の適用範囲の緩和 <ul style="list-style-type: none"> ① 転倒・転落予防のためのセンサーの使用…身体拘束に該当しない ② 四点柵…身体拘束に該当する

<お問い合わせ>
 公益財団法人日本医療機能評価機構 医療の質向上のための体制整備事業 事務局
 E-mail: qi_pilot@jqhc.or.jp TEL: 03-5217-2326

当機構では、在宅勤務及び時差勤務を実施しております。

本プロジェクトに関するお問い合わせは上記メール宛にてお願いいたします(お電話では対応しきれない場合がございます)。

お手数をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。